



3年 学年便り 第6号 (12月)

金沢桜丘高校 平成30年12月17日

大学入試センター試験は、一年で一番寒い時期に、朝から夕方まで二日にわたって行われる体力と集中力勝負の長い試験です。本番で全力を出し切れるよう、冬休みを含めて今後1ヶ月間の3点固定(起床, 就寝, 食事の時間)について、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

センターで実力を出し切るために何が重要? ベスト5

1. ひたすら問題を解いて慣れる (83%)
2. 段ズレやケアレスミスをしない (83%)
3. 時間配分や解答順序に注意する (73%)
4. 知識問題は確実に得点する (64%)
5. 心身共に体調管理する (51%)



蛭雪時代 12月号「センター試験 全力特集号」より

【ラーニングスペースの学習風景】

1. 保護者懇談会の実施

三者懇談で受験校の確認!

12/17(月)~19(水)に三者懇談会を行います。今回の懇談会では模擬試験等の結果から受験校の方針を決定いたします。それぞれの事情で受験のパターンは変わってきますが、出願する私大の決定およびその確認と、国公立大学につきましては、願書取り寄せ校(出願予定校)の検討を行いたいと思います。

お子様と十分話し合いをしていただきたいと思いますが、『絶対に諦めることなく、最後まで粘り強く頑張る』ように応援と暖かい励ましの言葉かけをしていただきますよう、よろしく願いいたします。

受験生に送る言葉

見せつけてやれ「底力」!!

「信念」

もし、あなたが負けると考えるなら、あなたは負ける。

もし、あなたがもうダメだと考えるなら、あなたはダメになる。

もし、あなたが勝ちたいと思う心の片隅で、ムリだと考えるなら、あなたは絶対に勝てない。もし、あなたが失敗すると考えるなら、あなたは失敗する。

世の中を見てみる、最後まで成功を願い続けた人だけが成功しているではないか。

すべては「人の心」が決めるのだ。

もし、あなたが勝てる则认为るならあなたは勝つ。

向上したい、自信を持ちたいと、もしあなたが願うなら、あなたはその通りの人になる。

強い人が勝つとも限らない。すばしい人が勝つとも限らない。

私はできる、そう考えている人が結局は勝つのだ。

12月以降の行事予定

12月 17~19日(月~水) 保護者懇談会
 21日(金) 大掃除、終業式
 25, 26日(火水) 全統パック模試
 29~1/3 登校不可

1月 7日(月) 大掃除、始業式
 7, 8日(月火) 代ゼミパック模試
 11, 12日(金土) 進研パック模試
 19, 20日(土日) 大学入試センター試験

【文責 3学年主任 上村 純一】

(この激励文は11月末に生徒に配布しました)

【305H担任】

『目指せ、100点アップ！』

いよいよセンター試験が近づいてきました。時間が足りないと焦っている人、成績が伸びないと不安な人もいるかもしれません。しかし**ここからが勝負です。**

桜丘高校の生徒はこの50日で大きく点数が伸びてきます。実際に昨年先輩達の成績を調べてみました。11月の進研模試から100点以上伸ばした人が約40人。

50点以上伸ばした人が約140人もいます。先輩達はこの時期からラストスパートに入りました。

今は**自分を信じて頑張るしかありません。**模擬試験やマーク演習で間違えたところをしっかりと復習して下さい。そこが各自の弱点なので。弱点を一つ一つ潰していくことが得点アップにつながります。**目指せ100点アップ！ みんななら、出来るはずです！**



【3学年主任】

『ぜーってえ、合格してやる』

今は昔。高3も2学期の終わり頃に大変なスランプと焦りや不安で、どうしようもなく落ち込んでいた。それを感じ取ったある先生から『**上村、もう落ちてもいいがいや・・・**』

と言われ、「えっ？」と思った。『けどなあ上村、あと2ヶ月あるぞ、この2ヶ月死に者ぐるいで勉強してみ、これ以上出来んって位に勉強してみ、ほんでダメやったら自分に満足いくやろ、自分によろやったなと褒めてやれるやろ。ほんで、いいがいや』と言われた。その通りやと思った。

それ迄の自分は「落ちたらどうしよう、親は悲しむし、先生はがっかりするし、友達は何て言うだろう…」と他人の目ばかり気にしていた。その日から、一心不乱に勉強した。食事も寝る間も惜しんで勉強した。

正月に友達と金沢神社にお参りに行った時、日頃無口な親父の絵馬を見つけた。『**純が合格しますように**』とだけ書いてあった。すげえ嬉しかった。**「ぜーってえ、合格してやる」**って誓った。

入試本番の日、「**自分のベストを出して、落ちたら本望**」と思うと不思議と緊張はなく、あっという間に試験終了のチャイムが鳴った。

そして、合格発表の日。金大の城内キャンパスの掲示板に自分の受験番号を見つけた。近くの公衆電話BOXから電話すると「良かったね」と言った母親の声が泣いていた。自分もいつの間にか泣いている事に気がついた。

【きれい事かも知れませんが、実話です】

